

講義名	アダブテッドスポーツ論			授業形態	
担当教員	野口 研治	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

<主題> アダブテッドスポーツ論
 <概要> 心身の健康に身体運動やスポーツがどのような効果を及ぼすのかについて、身体的、心理的、社会的な観点から理解するとともに、健康的で充実した人生・生活を送るために必要な知識の学習、習得を目指す。また2024年5月に神戸で「世界パラ陸上競技選手権大会」が開催されるということもあり、障がい者スポーツへの理解も深める。

到達目標

健康、運動、スポーツに関する知識、知見などを理解している。
 健康的な人生、生活を送るために必要な身体的及び、心理社会的な能力の基礎を身につけている。
 障がい者スポーツの知識を深め、障がい区分について理解している。

提出課題

毎授業に小レポート及び小テストを実施する。
 15回の授業終了後に最終レポート課題を実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

次回以降の授業でレポートに記入された質問や課題に対して出された答えのフィードバックを講義内で実施し学生と共有する。

評価の基準

- ・毎授業ごとの小レポート課題及び、小テスト・・・50点
- ・まとめテスト（レポート）・・・50点

履修にあたっての注意・助言他

場合によっては屋内で障がい者スポーツ（障害者）の体験なども行う予定。
 5分以上遅刻を3回すると1回の欠席とする。

教科書

参考図書

その他

毎回の授業に必要な資料（プリント）は当日配布する。

授業計画

- オリエンテーション：到達目標について
- 健康を知る：健康とは
- 健康を知る：身体と心
- 身体を知る：動的ストレッチと静的ストレッチ
- 身体を知る：運動、栄養、休養のバランス
- エクササイズを知る：有酸素運動とその効果
- エクササイズを知る：レジスタンストレーニング
- エイジング・身体活動の重要性
- SAJトレーニング・コーディネーショントレーニング
- 障がい者とスポーツ（身体障害者）
- 障がい者とスポーツ（身体障害者）
- 障がい者とスポーツ（知的障害）
- 障がい者とスポーツ（精神障害者）
- 前半のまとめ
- 後半のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- <第1回>
- 事前学習課題：シラバスの通読。
- 事後学習課題：講義内容をノートにまとめる。45分
- <第2回>
- 事前学習課題：関連図書の通読。
- 事後学習課題：講義内容をノートにまとめる。45分
- <第3回>
- 事前学習課題：関連図書の通読。
- 事後学習課題：講義内容をノートにまとめる。45分
- <第4回>
- 事前学習課題：関連図書の通読。
- 事後学習課題：講義内容をノートにまとめる。45分
- <第5回>
- 事前学習課題：関連図書の通読。
- 事後学習課題：講義内容をノートにまとめる。45分

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

アダブテッドスポーツの理解を通して専門分野における知識を有している。
 障害の有無に関わらず身体活動が必要であることを理解し、課題解決のために知識などを活用できる

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

学生とのコミュニケーションは講義内やレポートで行い、レポートに記入された質問や課題に対して次回以降に必ず答える。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 全国障害者スポーツ大会神戸市選手団陸上競技コーチ、兵庫県障害者マルチサポーター事業専属コーチ、兵庫県知的障害者陸上競技協会理事などを現在も行っており、現場で得た経験や知識を学生に伝える。

備考